

事業名		伊達野菜等ブランド化推進事業				所管部課係名 商工観光課商工観光係			
I. 施策区分									
戦略1		健康産業の創造							
健康に寄与する産業の活性化				市民の健康増進に貢献する産業の活性化					
①	地域産品・地域資源を活用した伊達ブランド産品の販路拡大	①	ポイントカードを活用した健康増進と経済循環						
②	地域産品のPR・プロモーションによる地場産業の活性化	②	民間事業所等による伊達市民向け健康増進プログラムの展開						
③	伊達市観光物産館等での観光戦略の推進	③	市民の伊達野菜の認知度向上						
④	民間企業による商品の開発支援	④	ひとり親、退職高齢者等の一次産業就業支援						
⑤	大滝区における体験型観光の取組								
⑥	健康関連事業の起業支援								
総合戦略の重要業績評価指標 (KPI)		モニターツアー開催回数 2019年度 (H31年度) 5回							
戦略2 定住促進のための環境整備									
雇用環境の向上と子育てにやさしいまちの実現				多様な人・世代の転入促進 (UJI Xターン支援)					
①	若年者・女性の雇用環境の改善	①	ひとり親、若年者等の就労・自立支援						
②	若年女性の定住支援	②	就労相談窓口におけるサポート						
③	遊びを通じた子育て環境の整備	伊達を誇りに思うひとづくり							
④	放課後児童クラブを活用した教育活動の実施	①	伊達市に住むことを誇りに思う意識の醸成						
移住希望者への情報提供		②	芸術・文化の小さな拠点づくり						
①	空き家情報の一元的な提供	近隣自治体と連携した定住環境の整備							
		①	近隣他市町との広域連携事業の推進						
戦略3 生涯現役社会の実現									
時代に合った地域づくり、安全・安心な暮らしの実現				住み慣れた地域で自分らしく生活できるまちの実現					
①	地域包括ケアシステムの構築	①	高齢者が気軽に集える場の創設						
②	健康づくり・介護予防・認知症予防事業の推進	②	市民クラブ活動支援センター等によるコミュニティ活動の支援						
		③	民間事業所による生涯現役社会実現に向けた取組の支援						
II. 事業内容									
事業概要		伊達市は、道内の中でも四季折々、多品種の野菜が栽培されているが、ブランドイメージの確立及び販路の拡大が課題となっている。そこで、一大マーケットである札幌圏において良質な伊達産食材の魅力を伝え、販路拡大につなげるため、野菜の展示直売会を開催するとともに、会場施設内のレストランでの伊達産食材を用いたメニュー提供や展示、モニターツアーによるPR活動を行う。							
新継区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 補助	事業期間	開始	平成 27 年度	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託	
	<input type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 単独		終了	平成 年度		<input type="checkbox"/> 団体への補助 団体名 ( ) 構成員 ( )	
決算状況	予算額		3,585 千円	決算額		3,323 千円	うち 地方創生交付金 3,323 千円		
	財源	国・道	3,323 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	一般財源	0 千円
		内訳	旅費	309,420円 (職員旅費)	使用料	112,324円 (高速道路利用料、駐車代)	負担金	2,900,949円 (PRツール製作、イベントスペース利用料、アンケート集計など)	3,322,693円
実施した内容		<p>①伊達フェアin大通ビッセの開催                      (1)伊達直売会in大通ビッセ(野菜等の展示販売)                      ・実施期間:平成27年7月4日(土)~31日(金) ※月、火曜日は休み 21日間開催                      ・会場:大通ビッセ地下2階(札幌市)                      (2)伊達産食材を使用した限定コラボメニューの提供                      ・実施期間:平成27年7月4日(土)~31日(金) ※28日間開催                      ・会場:大通ビッセ内飲食店15店舗(レストラン9店舗、スイーツ店6店舗)</p> <p>②伊達ファームツアー(9月)                      伊達野菜をPRするため、札幌市内飲食・流通関係者を対象とし、伊達市内の農家等の見学を実施した。</p>							

III-1. 所管課の評価結果 (全体評価)			
必要性	対応性	事業の結果が対象者(団体等)のニーズを満たしているか	○
	適切性	事業の目的自体が地方創生にとって適切なものであるか	○
	効率性	事業の目的を達成するにあたって、最小の費用(あるいは適切な費用)で事業が賅われているか	○
	有効性	生み出された効果が基本的方向や人口ビジョンに照らして効果が期待できるものか	○
	公平性	事業効果の受益や費用の負担が社会における多様な集団の間に公平に分配されているか	△
※評価基準		○ 妥当である    △ 概ね妥当である    × 妥当ではない	
事業効果		伊達直売会in大通ビッセは、連日來場するリピーターも多く、日を追うことに来場する方が増えてきた。また、反響も高く、次年度以降、開催を求める声も多かった。伊達ファームツアーは、参加者こそ少なかったが(4名)、今回のツアーをきっかけに訪問した農家と参加者で取引が開始されたなどの効果も見られた。	
今後の改善点		直売会自体は、期間限定のイベントなので、その後の取引や観光物産館に来てもらう仕掛けを講じるなど、次に繋がる取り組みが必要となる。	
将来的な自立の見通し		継続して直売会を実施し、認知度が高まることで、広告などのPR経費の削減が可能となる。	
その他		平成28年度も大通ビッセで野菜の直売会を開催したところ、販売と同時に行列ができ、連日、約2時間ほどで陳列野菜の大半が売り切れになるなど、大好評であった。	

III-2. 所管課の評価結果 (KPIの達成状況)			
実施計画の重要業績評価指標 (KPI)		モニターツアー参加者の満足度:50%	評価結果 ○
※評価基準		○ 達成済み    △ 達成する見込み    × 達成する見込みはない	
伊達ファームツアー(モニターツアー)自体は、平成28年度で見直しを行う。具体的には、NPO法人だて観光協会と連携して、札幌圏の消費者に対し、伊達の農家で収穫体験を行うツアーを実施するなど、札幌圏における伊達野菜のファンづくりに繋げる取り組みを実施する。			

IV. 事業結果を踏まえた企画課評価結果			
実施状況	計画した事業が実施されているか	○ 問題なく実施している △ 社会経済情勢等の変化に伴う見直しが必要 ○ 目標達成が期待できる △ 今後の推移を見守る必要がある × 目標達成が困難である	評価結果 ○
重要業績評価指標 (KPI) の達成見通し	現時点におけるKPIの達成状況 取り組み後の効果の状況	○ 期待した効果が上がっている △ 部分的に効果が上がっている × まだ効果が見られない	
事業の今後について		追加等更に発展させる <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容の見直し(改善)	
総合戦略の見直しの必要性		見直し必要 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し不要	

「健康に寄与する産業の活性化」を目指し、伊達野菜を中心とした地域産品のPR・プロモーションによる地場産業の活性化の推進施策として実施したものである。札幌市でのフェアは大盛況であり、地方創生に相当程度効果があつた事業と考える。モニターツアーを含む、内容の見直しを随時行いながら事業を行うことで、地場産業の活性化に一定の効果が見込まれる。そのため、総合戦略を推進するためには、継続的な事業の実施が必要である。